

県立広島大学 平成20年度重点研究事業成果発表会 発表者一覧

会場1 広島C:2143大講義室 (教育研究棟2) → 庄原C:大講義室(2号館) 三原C:1101大講義室(1号館) 発表順,発表予定時刻,発表者はやむを得ず変更する場合があります。

発表時間	区分	順番	研究計画代表教員			研究課題名	発表者	概要ページ	
			所属	職名	氏名				
09 20 30 40 50	地域課題解決研究	1	保健福祉・作業療法	教授	林 優子	尾道市行政における子どもの発育と発達を保障するための子育て地域支援システム構築に向けての研究-妊娠期から就学前を中心に-	林 優子	99	
		2	保健福祉・作業療法	教授	土田 玲子	発達障害をもつ児童および青年に対する自立にむけての支援方法、およびそのシステムの確立に関する研究	土田 玲子	97	
		3	保健福祉・看護	講師	水馬 朋子	高齢化時代における住民参画による健康な地域づくりシステムの形成に関する研究	水馬 朋子	93	
		4	人間文化・健康科学	教授	中瀬古 哲	保育所における「意図的・組織的」就学前教育(保育)に関する研究~心身を鍛え、主体的に学ぶ意欲をもった子どもを育てるために~	中瀬古 哲	75	
		10 00	質疑応答						
		10 10	5	人間文化・健康科学	教授	栢下 淳	客観的な指標を基にしたリハビリテーション病院における段階的な嚥下食の確立	栢下 淳	73
		10 20	6	生命環境・環境科学	教授	三好 康彦	世羅町における大規模畜産業の悪臭問題に関する調査及び対策技術に関する研究	三好 康彦	85
		10 30	7	経営情報・経営	教授	吉川 富夫	公民連携と地方公務員の将来像形成に関する研究	吉川 富夫	77
10 40	8	人間文化・国際文化	教授	西本 寮子	地域総合研究の一環としての竹原・吉井家文書の調査及び基礎的研究	西本 寮子	69		
10 50	質疑応答								
11 00	休憩(10分)								
11 10 20 30 40 50	地域課題解決研究	9	人間文化・国際文化	准教授	藤井 浩樹	子どもの学力形成を保障する自然体験学習の地域プログラムの開発	藤井 浩樹	71	
		10	保健福祉・理学療法	講師	島谷 康司	医学的治療の対象となっていない児の身体運動評価と運動指導方法について-園と県立広島大学の連携による児の継続的フォローアップ形態の確立-	島谷 康司	95	
		11	保健福祉・コミュ障害	教授	玉井 ふみ	三原市における就学前の子どもの発達評価に関する研究-就学時の支援に向けて-	堀江 真由美 (コミュニケーション障害学科助教)	101	
		12	保健福祉・人間福祉	教授	三原 博光	三原市の障害者を持つ父親達の生活意識について-実態調査を通じて-	三原 博光	103	
		質疑応答							
12 00	昼休憩								
13 00 10 20 30 40 50	地域課題解決研究	13	生命環境・生命科学	准教授	村田 和賀代	新生庄原市におけるコミュニティの自立(ビジネスを背景とした生活基盤の確立)に関する研究	村田 和賀代	81	
		14	生命環境・環境科学	教授	藤田 泉	地域農産物及び自然資源の高度利用による中山間地域農林業の再生-在来機能性作物の栽培・加工・最終消費形態の組織的普及開発を主として-	藤田 泉	83	
		15	生命環境・環境科学	准教授	前川 俊清	住民自治組織の再構成による自己育成型地域づくり	前川 俊清	91	
		16	生命環境・環境科学	准教授	増田 泰三	広島県内におけるエネルギー作物や木質バイオマスに由来するエネルギー生産可能量の推定	増田 泰三	89	
		17	生命環境・環境科学	教授	森永 力	木質バイオマスを活用したバイオエタノールの生産技術に関する研究	森永 力	87	
		質疑応答							
14 00	休憩(10分)								
14 10 25 30 45 50	学部プロジェクト研究	1	生命環境学部	教授	森永 力	がん形質発現機構をモデルとしたシグナル伝達病の戦略的生命科学研究	達家 雅明 (生命科学科教授)	113	
		質疑応答							
		2	人間文化学部	教授	酒川 茂	コミュニケーション能力の向上をめざす学部教育の改善	酒川 茂	109	
		質疑応答							
		3	経営情報学部	教授	上野 信行	広島県のサービス産業の活性化に関する多面的研究	岡村雅仁(経営情報学科教授) 小野博則(経営学科教授) 五百竹宏明(経営学科准教授)	111	
15 05 10	学部プロジェクト研究	質疑応答							
4		保健福祉学部	教授	田丸 政男	中枢神経障害者に効果的なりハビリテーション法の開発とその脳科学的根拠に関する研究	今泉 敏 (コミュニケーション障害学科教授)	115		
15 25 30	休憩(10分)								
16 00 10 20 30 40 50	高等教育推進研究	1	人間文化・国際文化	教授	富田 和広	ESDについての研究-国際理解教育テキスト作成を目標として-	富田 和広	1	
		2	経営情報・経営情報	教授	森田 勝弘	学士課程教育における「学生支援型キャリア教育プログラム」の体系的構築に関する研究	松尾 智晶(総合教育センター准教授) 補助・平原敦子(総合教育センター助手)	3	
		3	経営情報・経営情報	准教授	佐々木 宣介	高大連携を想定した経営情報分野の導入教材の検討	佐々木 宣介	5	
		4	保健福祉・コミュ障害	教授	吉畑 博代	言語聴覚士のためのコミュニケーションスキルアップ支援に関する研究	本多 留美 (コミュニケーション障害学科准教授)	9	
		5	保健福祉・コミュ障害	助教	細川 淳嗣	聴力検査手技を習得するための、動画を中心としたインタラクティブなWebブラウザで閲覧できる教材作成とその評価	細川 淳嗣	11	
		6	保健福祉・人間福祉	教授	加茂 陽	統合的學生支援システム作りのためのパイロットスタディ	加茂 陽、補助: 大下 由美 (人間福祉学科准教授)	13	
		7	保健福祉・コミュ障害	教授	友定 賢治	全学共通教育科目「地域の理解」を対象とし、全学集約型エフォートを介した全学的教育改善への取り組み	小川 仁士 (経営情報学部経営情報学科准教授)	7	
16 50	質疑応答								